

中国向けのEMが快走

山添隆・コスモビューティー社長語る



化粧品受託製造(OEM)業界大手、コスモビューティーの山添隆社長は9月8日(木)、東京・成増の東京本社で本紙のインタビューに応じ、同社の9月中間期の状況を含めた近況や最新の取り組み、中長期的な戦略など縦横に語った(聞き手は川口副編集)。

多様な人材採用を推進

—9月中間期の見通し
販市場、海外は中国市场に注力している。中国向けは上高を括りきせていくぐら
いのスピード感が必要だと
考へている。2020年に
上高を計画しているが、現状、
目標を上回るベースで好調
に推移している。
—前期は売上高の起爆
剤に中国向け化粧品を挙げ
ていたが。
〔現在当社では国内は通
進んでおり、今後7年間ぐ
う話も聞くが、当社では既
に盛り上がりつつある」

「前期売上高(3月期決算)は152億円、今期は167億円を計画しているが、現状、目標を上回るベースで好調に推移している。
—前期は売上高の起爆剤に中国向け化粧品を挙げていたが。
〔現在当社では国内は通進んでおり、今後7年間ぐう話も聞くが、当社では既に盛り上がりつつある」

中国売上高40億円が射程

「マーケットイン」開発提案で国内通販開拓強化へ

化粧品受託製造(OEM)業界大手、コスモビューティーの山添隆社長は9月8日(木)、東京・成増の東京本社で本紙のインタビューに応じ、同社の9月中間期の状況を含めた近況や最新の取り組み、中長期的な戦略など縦横に語った(聞き手は川口副編集)。

「まだ、今後積極的に進めて行きたいのが多様な人材の採用だ。当社は20年以上から外国人採用を進めってきたが、今後は外国人採用と並行してLGBTの採用も積極的に進める。当社で中国との貿易が盛んになったのも、早くから中国人社員の採用を行ってきたからだ。今は中国人ホワイ

トカフーが10数名在籍しており、20数年前に中国人社員第一号として入社した人が、今年5月に常務取締役に就任、今では当社のナ

ンバーとして活躍している。ベトナム工場のトップ

は、ベトナム人だ。人材の多様性は昔から当社の風土にあり、他社にはない特長としてコスモビューティーの力になっている」

—「コスモグローバルビジョン」と称した海外展開の今後の計画は。
「中国については今後も迅速な対応に磨きをかけ、

マーケットシェア獲得に全効率を上げる。そして中国の次に考へているのは中東諸国だ。特に、女性の美に対する意識と購買意欲が高い、中東のある国に注目している。来春、中東で開催される展示会から新しい種まきを始めるつもりだ」

—「市場への新しい提案材料は。
「当社の今後の方針とし

てほぼ決定していること

に直結しているということ

が取り沙汰されている中で

は、会社としてこれを抜本的に変えて行かなければならぬ。来春頃を目途に使

用量をゼロにして、撤廃宣言

したい。なお、代替品には

ビーズの使用撤廃だ。もと

も当社は、前身のモクケンの社名の由来になつて

いるおが屑を使つたスクラップ手洗いから発祥した会社トウモロコシの穂軸由来の素材を使用する予定で、こ

れから実際に原料の産地にも足を運び、確認作業を進めていく」

般受託製造業欄